

教育夢発信

地域の方から学ぶ

本園では、毎月お誕生会に、地域の方々をお招きして郷土の文化に触れる体験をしています。

今回は、「飛鼓太鼓」の演奏を聴きました。大きな太鼓が目の前を通つていくと、「わあー大きい」「こんな見たことがない」と、準備の時から興奮気味でした。

子どもたちは、演奏が始まると、身動きもしないでジーンと聴いていました。太鼓の音は遊戯室の床から「どーんどーん」と響きわたり、子どもたちの心をとらえ、目をキラキラと輝かせました。子どもたちは、体が音に吸い込まれるような錯覚をしていたようでした。

演奏が終わると、嵐のような拍手と「おじさん、ありがとう」「かっこよかった」と子どもたちが思わず発した言葉は、本物に出合ったことから出たものでした。

「みんなもやってみたい？」という問い掛けに、子どもたちは、すかさず「やってみたい」「あ



の太鼓をたいてみたい」と口々に言い、順番に全園児が体験することになりました。

初めてた

たく大きな太鼓に、子どもたちはソワソワ、ウキウキしていました。でも、一度バチを手にすると、初めてとは思えないほど、上手なバチさばきでリズムに乗ってたたいていました。

太鼓が面白くなると、子どもたちは、おじさんたちのかっこいいバチさばきをまねしたくなりました。「おじさんのように、くるくると回してたたいてみたい」という要望にも応え、快く丁寧に教えてくださいました。

自分の順番が来るまで、上手に待つ姿、たたき方が分からない子には教えている姿も見られ、いつの間にか小さな太鼓名人になっていました。子どもたちは、郷土の文化に触れることを通して、礼儀作法や集中力、感謝の気持ちなどを学んだようでした。



教科書を使って脳トレ

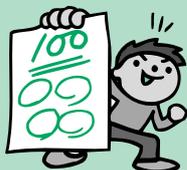
小・中学校で使用する教科書の見本を市立図書館・教育研究所（市役所2階）に展示しています。誰でもご覧になれます。

漢字について考えてみましょう！

小学校の6年間で、合計1,006字の漢字を学びます。（1年生...80字、2年生...160字、3年生...200字、4年生...200字、5年生...185字、6年生...181字）

Q1 次の文の.....の部分の漢字を送り仮名で書きましよう。（小学2年生国語（下）の教科書（光村図書）より）

- ①屋じょうから、東京タワーが見える。
- ②たなのうえに、金魚ばちをおく。
- ③うわばきをぬぐ。
- ④川かみから、ももがながれてくる。
- ⑤古い本をつみあげる。
- ⑥お寺のかいだんをのぼる。
- ⑦ろうかにならぶ。
- ⑧雨がふってきたので、げ山する。
- ⑨つくえのしたにもぐる。
- ⑩船が、川しもにながされる。
- ⑪頭をさげる。



⑫さかをくだと、小学校がある。

⑬にもつをおろす。

* 簡単な漢字ですが、読み方がたくさんあります。

Q2 「入浴」→「浴場」→「場...」→...のように、2字の熟語を作りながら進みましょう。（小学4年生国語（下）の教科書より）

入口 → 出口

入	浴	実	力	作
合	場	事	食	間
体	路	上	達	人
育	道	歩	進	前
児	童	話	題	名

（答えは、次頁下です。）